

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月5日（14:00～15:00）

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 城下・堀・井上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	5人	1人	人	6人

前回の改善計画	
①毎日の朝礼やミーティング、パソコン内の情報を通じて個別ケースの把握を行う。 ②利用に慣れて頂けるまで話を傾聴し、普段のコミュニケーションの中でその方に合った支援方法、その方の為になる様な作業の提供等を行っていく。 ③家族、介護者から出てくる支援内容にも耳を傾け、言葉にならない方へ寄り添い理解を深める。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・ミーティングや申し送りで把握できている。理解しにくいところは聞けるようになった。 ・ご利用者の話を軽x奉仕、その方の新しい発見をすることができた。 ・送迎時に話を聞き、自宅での様子、変化を知る機会を作った。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	4			6
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		5	1		6
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	1	5			6
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		5	1		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・事前の情報、利用されてからの状態など、毎日の朝礼や午後からのミーティングで情報共有するようにしている。 ・家族さんからの不安な事やいろいろな話を聞き少しでも不安の解消に努めるように心がけることができた。 ・日々の変化を常に共有できるよう伝えることもできている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・ご本人の思いや、できることを見つける、把握することに時間がかかってしまう。 ・新規でのご利用の際、慣れない環境の中でリラックスして過ごしていただける空間、環境づくりができていないように感じる。 ・ご家族さんからの帳面記載の内容が読めていない、記載に対しての返答ができていないことがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	① 毎日の朝礼やミーティング、パソコン内の情報を通じて個別ケースの把握を行う。 ② 職員一人一人が情報を収集して共有し、統一した支援を見つけていく。新規利用の方には特に密にかかわりを持つようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月25日(14:00~15:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 城下・山崎・松本・堀・井上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	1人	人	6人

前回の改善計画

- ①「その人を知る」ということを意識し、積極的にコミュニケーションを図り、情報の発信や収集に努める。
- ②「出来る事」の把握と共に「したい事」を探りその人の新たな面を発見できるように努める。
- ③その方のできる事、その方の今までの生活歴などから、得意な事を知り皆で共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・積極的にコミュニケーションを図ることで「できること」「したいこと」の把握ができた。
- ・自分が得た情報を職員間で共有することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	4			6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		5	1		6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5			6
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5	1		6

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・ご利用者のできること、得意なことを考えながら行事企画等を提案、実践することができた。  
・ご利用者のできることの把握は、口頭伝達や個別ファイルを通しておおむね理解している。  
・ご本人の思いや今までの生活歴などの情報収集はよくできている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・以前の生活から得意な事、できていたことを理解していても、今現在の支援につなげたり、提供する方法がわからない。  
・実践した取り組みはその内容をミーティング等で反省することができていない。次に活かす、ということができていない。  
・ご本人の目標が明確な方ばかりではない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ① ミーティング等を活用し、支援方法などの意見交換を行う。
- ② 実施した取り組み内容を張信するだけでなく、結果、評価なども共有できるように努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1 年 10 月 25 日 ( 14:00～ 15:00 )

3. 日常生活の支援

メンバー 城下・松本・堀・井上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	2人	人	6人

前回の改善計画
①職員一人一人が「聞く事」「伝える事」を意識する。(個人情報取り扱いに注意しながら) ③言葉にならない方の思いを汲み取り、思いに沿った支援を行っていく。 ④その方の性格を把握し、本音で話をしておられるのかどうか、遠慮されていないか、言いたい事が言える関係づくりを行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・聞く姿勢を持ち、聞き取りにくいことでも最後まで聞こうと努力できた。 ・自分の思いを訴えられる人以上に、訴えることのできない方に目を向けることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	5		6
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		6			6
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		5	1		6
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	3			6
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		5	1		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・体調の変化等、情報の共有ができています。 ・ご利用者それぞれに合った対応ができています。体調の変化にも早くに気づくことができています。 ・体調に合わせて食事形態を変更したり、排泄方法を変更させるなどの支援が行えている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・言葉にならない思いが正確なものかどうか分からないときがある。 ・職員それぞれのスキルの差もあり、ご利用者の変化に気づけないこともある。 ・10個以上のご利用者の以前の暮らし方についての理解まではできていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	①職員一人一人が「教わること」「伝えること」を意識する。 ②ご本人が訴えられた内容など、職員間で情報共有することで統一したケアにつなげていく。 ③その人に対してのケアの方法を皆で共有し確認しあう。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月26日 ( 14:00～15:00 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 城下・堀・山崎・井上・小森

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	2人	人	6人

前回の改善計画
① 送迎時、訪問時等、ご家族様や、地域の方にしっかりと挨拶を行う。また、あいさつ以外に一言足したコミュニケーションを意識する。
② ご本人の住まわれている地域のかたとの関係作りに努める。(挨拶、行事への参加等)
前回の改善計画に対する取組み結果
・挨拶に一言添えるなどすることでコミュニケーションが図れた。 ・地域の方にあいさつを行い、コミュニケーションのきっかけができたと思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		3	3		6
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		3	3		6
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		1	5		6
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	2	1	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・ご家族とお出合いする際等しっかりとあいさつができています。 ・独居の方が多くなか、地域の方との関係づくりはより大切であり、事業所として関係づくりができていていると思う。 ・挨拶だけにとどまらず、その他のことも口にするなどし、挨拶だけで終わらないように意識している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・事業所側から地域に出向いての行事の参加ができていない。 ・高齢の方が多く、ご本人となじみの「何か」の関係が切れないように…という支援はできていない。 ・自分たちが接していない間のご利用者の把握まではなかなかできない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
① 地域の行事を把握する。	
② 地域の方とのきっかけ作りに努めることができるよう、あいさつ以外に一言足したコミュニケーションを意識する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年11月7日（14:00～15:00）

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 城下・松本・井上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3人	2人	人	5人

前回の改善計画	
①企画や行事だけにとどまらず、職員それぞれが地域に目を向け、利用者さんと一緒に外出する。 ②自施設が地域資源の一つとなる様な取り組みを継続的に行う。（内容の検討、実施方法の検討等） ③ご本人の様々な情報交換や、情報共有することで柔軟な支援が行える様にする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・ご利用者の体調、ご家族の都合等に応じて通いや訪問回数を増やし、泊まりを含めた柔軟な対応が行えた。 ・社会資源の1つになれるようご利用者の「得意」を活かし雑巾縫いをしてもらい、地域の方に使用していただけるなど自施設を知っていただくきっかけ作りが一つできた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		3	2	1	6
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	1	4			5
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	1	5			6
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1	4	1		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・より柔軟な支援ができるよう情報共有としてのミーティングが毎日できている。 ・地域資源の活用として、近隣の商店での買い物等が行えている。 ・体調や、ご家族の希望により柔軟に泊まり、通い、訪問の増減などが行えている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・地域の行事に参加することができなかった。 ・自事業所の取り組みなどがうまくアピールできなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
① ご利用者の買い物代行だけでなく、買い物に同行し地域に出向いてもらえるようなかかわりを行う。 ② サテライト事業所であることを強みとし、地域の行事参加ができるように、しやすいように調整する。 ③ ご本人、ご家族の状況に柔軟に対応できるように情報収集、情報共有を図っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年11月4日（ 14:45～15:15 ）

6. 連携・協働

メンバー 城下・井上・松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	1	4	1	人	6

前回の改善計画

- ①ケアマネ会議や、運営推進会議等、地域の会議の内容をしっかりと伝達し、情報共有する。
- ②地域交流の新たな形の模索、検討を行う。
- ③地域行事に積極的に参加する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・各種会議録をファイリングし、みんなが見れるようにできており情報の共有ができています。
- ・結果は伴わなかったが、地域交流の新しい形として地域の方に自施設に来てもらうことを想定し「縫った雑巾を取りに来てください…」と案内することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	1	1		5
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	3		1	6
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		3	1	1	5
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1	4	1	6

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・子供が事業所を訪れることは少ないが、地域の高齢者の方が作った小物、絵画等持ってきてくださり、活用させていただいている。
- ・ケアマネ会議等の情報はケア会議等で情報を得ることができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・幼稚園との野菜作りを通じた交流ができなくなり（畑がなくなり）回数が減った。
- ・地域の方が事業所を訪ねてくれるのも決まった方だけにとどまっている。
- ・地域との関係づくりができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ① ケアマネ会議や、運営推進会議等、地域の会議の内容をしっかりと伝達し、情報共有する。
- ② 自施設を地域の方に知っていただく、わかっているように、行事や配布物等を通じてアピールしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年11月6日(15:20~15:45)

7. 運営

メンバー 山崎・小森・松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	5	1	人	6

前回の改善計画	①事業所のあり方を検討していける様、在宅サービスについて理解する。(勉強会等行う) ②地域の方、ご家族様にしっかりと挨拶を行い、顔の知れた関係作りをする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・在宅サービスに関しての勉強会の実施ができておらず、取組みの結果としては評価できず。 ・地域の方々に挨拶することで「ふれあいホームあみの」の職員であると認識してくださっている方もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		4	2		6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		5	1		6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	1		5
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2	3	1	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・職員面談等で自分の意見を直接言うことができている。 ・意見や苦情などがあればその都度情報を共有し、改善に向けて取り組むことができている。 ・ご家族や地域の方への挨拶はしっかりとできている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・地域と協働して取り組んでいるのが夏祭りだけである。 ・夏祭りに来てくださる方もある程度限られてしまっているように感じる。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ① 事業所のあり方を検討していける様、在宅サービスについて理解する。(勉強会等行う) ② 他事業所と協働して地域の中に入っていけるような企画や行事を行う。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年11月7日 ( 14:20~15:00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 松本・城下・井上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	6	人	人	6

前回の改善計画

- ①ヒヤリハット報告書の提出を積極的に行い、危険へのリスク回避につなげる。
- ②研修に参加した職員が内容をしっかりとまとめ、伝える力をつける。
- ③事業所内の勉強会を持ち、スキルアップに努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・積極的にヒヤリハットを提出する等行ったが、同じことを繰り返すこともあった。
- ・研修に参加してことを報告書だけでなく、ケア会議等で職員に伝達することができた。
- ・ケア会議を用いて、職員1人が伝える側、先生として「教える側」となり伝達することや、伝えるためにどのように文章をまとめるか等行うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		5	1		6
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	1		6
③	地域連絡会に参加していますか		2	2		4
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		5	1		6

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・研修に参加し、参加した職員がそのほかの職員にも内容を伝達してくれている。
- ・ヒヤリハット報告書や、研修内容に目を通し参加していない職員も知識向上に努めている。
- ・ヒヤリハット報告書などの提出書類の文章をまとめるように努力した。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・研修報告等をうまく伝達できていないこともあり、弱い部分だと思う。
- ・同じ失敗を繰り返してしまう。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ① ヒヤリハット報告書の提出を積極的に行い、危険へのリスク回避につなげる。
- ② 事業所内外の研修、勉強会に参加していく。
- ③ 「伝える力」「聞く力」を身に着けることができるよう事業所内の勉強会を継続していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1 年 11 月 7 日 ( 14:00～15:00 )

9. 人権・プライバシー

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	1人	人	6人

前回の改善計画	<p>①身体拘束、虐待に関する勉強会を実施する。</p> <p>②必要な情報共有を行う際、プライバシーに配慮する。(情報発信の方法の検討等)</p> <p>③職員間の声掛けや連携により、少人数での対応の中でも言葉での拘束、行動制限等することなく、安全に過ごしていただく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束、虐待に対しての勉強会が今年度も行えた。</li> <li>・プライバシーの配慮の必要性をわかっていながら口をついて個人情報を伝達する場面が見られた。</li> <li>・連携を持ちながら業務に当たっていたが、言葉による行動制限を行う場面もあった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	1	4	1		6
②	虐待は行われていない	2	4			6
③	プライバシーが守られている	1	4	1		6
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	2			6
⑤	適正な個人情報の管理ができている		5	1		6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年虐待に関する勉強会を行っている。</li> <li>・行動の抑制（虐待）にならないように、ご本人の動きを止めるのではなく、何のための動きなのかを考えながら対応している。</li> <li>・ご家族の希望により自宅でのベッド柵（4本）使用を除いて身体拘束は行っていない。</li> <li>・成年後見制度を利用ししっかりと金銭管理等行っていただいている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が少人数で対応する中で「言葉」による拘束、行動抑制を行ってしまったことがある。また、「待つ」という言葉をよく使用してしまう。</li> <li>・他者に聞こえてしまう声でご利用者の名前を出して話をしてしまうことがある。</li> <li>・職員間で情報共有する中で、場所を考えず声に出し情報を流してしまいがちである。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>① 身体拘束、虐待に関する勉強会を実施する。</p> <p>② プライバシーの配慮の必要性を理解し、職員同士で注意しあう。</p> <p>③ 大変な場面を1人の職員だけに任せるのではなく、職員間の声掛けや連携により全体で支援していく。</p>	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	丹後福祉会	代表者	草本修明	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>「網野町の町の中心部に立地している」という特徴を活かして、買い物や市役所の手続き、敬老会、自治活動等の地域行事への参加等についても応援させていただきます。</li> <li>それぞれのご利用者の、介護についてのご意向を大切にして、個別の企画を立案、実行することで、画一的なケアではなく、個別のケアを大切にしています。</li> </ul>
事業所名	ふれあいホームあみの	管理者	山本章代		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4人	人	2人	1人	人	人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な目標設定を行いました。</li> <li>H31年度は、今以上に地域に向向いていけるような取り組みを行っていきます。</li> </ul>	<p>具体的な目標設定により、しっかりと取り組むことができました。</p> <p>地域に向向いていくような取り組みを行いました。良い結果につながらずでした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>わからないことが多いと思います。</li> <li>誰が常勤、常勤でないかは外部からはわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標を具体的にあげ、それに沿って取り組んでいきます。</li> <li>職員の意見がしっかりと反映できるように意見交換を行います。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の周辺や、訪問の際に出会う方への、挨拶を行う事で事業所の周知を行う。</li> <li>自施設が居心地の良い空間となるよう室内外の環境整備に努める。</li> </ul>	<p>地域の方への挨拶や、かかわりを大切にしてきました。</p> <p>近所の畑が使用できなくなり、また、交流していた幼稚園がなくなったことで交流の機会が減ってしまいました。</p> <p>玄関に地域の方から頂く絵手紙を張り出し、季節ごとに違ったものを見ていただいています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>できていると思います。</li> <li>道淵であり入りやすく、出やすい。(徘徊リスクのある方は出やすい環境)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者の居場所になるような心地よい環境づくりを行っていきます。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方と一緒にいたり、地域の方が入ってきてくださるような行事、企画の計画、地域の行事への参加を行っていきます。知につなげる。</li> </ul>	<p>雑巾を配布するという企画を立て、地域の方に施設に取りに来てもらう計画を立てましたが、来ていただけませんでした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>できていると思います。</li> <li>・実際、民生委員になって初めて来させてもらい場所が分かった。名前で聞いていたが実際に入ったりするのは初めて。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に向向くことばかりではなく、事業所の存在を地域に知っていただくきっかけを作っていく。(行事への参加、取り組みの実施等)</li> </ul>

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• H31年度も地域の方への挨拶、交流をすることで互いに関係性を深め、地域で生活されているご利用者様の支援につなげていきます。</li> <li>• 地域の行事等に積極的に参加したり、地域の会議等に参加することで地域の情報を得ていきます。</li> </ul>	<p>雑巾配布企画がうまくいかずで会議で相談させていただき、区長さんを通じ、地域の愛護会(子供)に雑巾をお渡しすることができました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 登録者以外のお年寄りの生活も見てもらえており、ありがたい。今後ともよろしく言をお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運営推進会議等を行うことで地域の高齢者の実態把握を行う。</li> <li>● 地域の方への挨拶、交流をすることで互いに関係性を深め、地域で生活されているご利用者様の支援につなげていきます。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運営推進会議等へ参加し、地域住民さんから頂く意見などをしっかりと運営に反映させる。地域の方と一緒に地域の高齢者への支援を考える機会にする。</li> </ul>	<p>運営推進会議は、非常に円滑に実施できています。地域の状況や、施設の現状を常にご承知いただく機会にもなっています。</p> <p>地域で心配な方のケースが話し合われることもあり、何かあれば相談いただけるようお声がけもできました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運営推進会議で出た意見を活かしていると思います。</li> <li>● 民生委員さんや、包括支援センターからの地域の心配な方の事例が報告され、対処方法等、話し合いができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運営推進会議等で自事業所の取り組みや、報告等わかりやすく伝える。</li> <li>● 地域の民生委員さんや、包括支援センターの職員と一緒に地域の心配な方に対して対策を検討したり、情報共有を図ります。</li> </ul>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運営推進会議等で防災訓練の告知を行う。</li> <li>• 年2回の消防訓練、年1回の水害避難訓練を行い、職員の防災意識を高めていきます。</li> </ul>	<p>年2回の火災消防訓練の実施は確実に実施することができました。訓練では意識してできますが、いざという時のために日頃から意識付けが必要だと感じています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実際の訓練の様子は見ていないが、実施しているのは知っていた。</li> <li>● 事業所を頼りにするかどうかはわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 年2回の消防訓練、年1回の水害避難訓練を行い、職員の防災意識を高めていきます。</li> </ul>